

# 被災地介護施設への全国からの 応援職員を紹介します

平成30年10月

Ver. 2

①氏名 ②応援元施設等名（所在地） ③応援期間 ④自己紹介

## 特別養護老人ホーム花ぶさ苑

- ①黒羽 和也（くろば かずや）
- ②社会福祉法人福島県社会福祉事業団（福島県西郷村）
- ③平成30年10月1日～平成30年12月31日
- ④被災地介護施設再開等支援事業に参加させていただき、慣れない土地や施設に初めは戸惑いでしたが、職員の皆様や利用されている方々に笑顔で迎えていただき、楽しく仕事をすることができています。

短い期間ですが、少しでも利用されている方々や職員の皆様の力になればと思っております。



## 特別養護老人ホームリリー園

- ①佐藤 智浩（さとう ともひろ）
- ②社会福祉法人福島県社会福祉事業団（福島県西郷村）
- ③平成30年10月1日～平成30年12月31日
- ④被災地介護施設再開等支援事業に応援職員として派遣されると聞いたとき、障害者支援施設でしか仕事の経験がない私が本当にお役に立てるのかと不安と戸惑いがありました。しかし、戸惑いながらも、職員の方々より一つ一つ丁寧なアドバイスを頂き、不安解消に繋がっています。  
利用者されている方々からも「ありがとう。」等々、感謝の言葉を頂くと、「やりがい」を持って仕事に励む事が出来ています。  
3ヶ月と短い期間ではありますが、「目配り・気配り」を忘れずに、「安心・安全」に生活が送れるように支援して行きたいと思えます。



## 特別養護老人ホーム梅の香

- ①大石 瑠花 (おいしい るか)
- ②社会福祉法人恩賜財団済生会支部山形県済生会  
特別養護老人ホームながまち荘 (山形県)
- ③平成30年10月1日～平成30年12月31日
- ④介護福祉施設に就職し、今年で3年目となった。社会人として全てのことが初めてでどのように対応するのが正しいのか分からずに悩む日も多くあった。しかし、3年という月日とともに少しずつ自分なりに「介護とは。」「人との関わり方とは。」と考えるようになり、自分の介護技術はどのくらいなのか？他の場所では通用するのか？と疑問を持ち始めていた。そんな時、今回の話を聞きまた新たな気持ちで介護を勉強したい。と思い行かせていただきたい事を上司に伝えた。慣れない場所で、初めての一人暮らし、初めてのユニットケアで不安な気持ちもあるが、温かく迎えてくださった梅の香のご利用者の皆様、職員の方々に感謝の気持ちを忘れず、皆様が少しでも安心して過ごして頂けるよう努めて参りたいと思います。



## 特別養護老人ホーム梅の香

①星 優子（ほし ゆうこ）

②社会福祉法人蓬愛会

特別養護老人ホーム而今桜（栃木県）

③平成30年10月1日～平成30年12月31日

④介護職を始めてから、仕事が辛いと感じたことはない。この仕事には他の職業にはない大きな魅力がある。その一つは出逢いである。私が所属する蓬愛会の理念である「出逢いを大切にし 人を愛する」「今日の一日を 楽しく生きる」これ程に素晴らしい生き方はないと共感し、今日までこの仕事を続けることが出来た。この仕事を通して出逢った方々から、日々、仕事や生きる事について多くを学び、時には励まされて、仕事を精一杯楽しみ、利用者の方々と笑って過ごすことが出来た。また、今まで 200 人以上の方のケアに関わり、生きることについて、多くの学ぶ機会を頂いたことだ。

もう一つは、楽しみである。猪突猛進に仕事をする私にとって、理解ある上司と、私を理解し支えてくれる同僚に出逢えたこと、そこから仕事が楽しくて仕方がないというのも、なかなか得難いものであると思う。私にとって仕事は人生の楽しみである。

今回の派遣の話を頂いた時に、どの様な方々に出逢えるのだろうという期待をした。そして、微力ながらも誰かの役に立てれば、という思いで「梅の香」の戸を叩いた。

